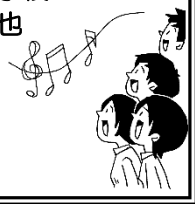
第五中だより

令和８年 10 月 30 日発行【第 11 号】
発行者　唐津市立第五中学校
校　長　嬉　野　　雅　也



《学校教育目標》「　つながろう！五中！　」
～　学びと、地域と、人と　つながる・つなぐ　～
《　校　　訓　》　「 みなぎる力 、 輝く希望 、 あふるる光 」

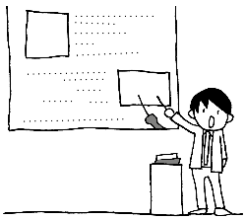
令和8年度　第71回文化発表会に向けて

五中では１０月３日（土）に体育大会を実施したばかりですが、１０月３１日（土）には第７１回文化発表会を開催いたします。学校では、各学年で様々な発表の準備や練習が進んでいます。特に、５・６時間目の文化発表会準備の時間や帰りの会の時間になると、音楽室や各クラスの窓から元気で美しいハーモニーが聞こえてきます。体育大会で響かせた応援の声とは全く違う素敵なハーモニーを奏でる美しい歌声が、どのクラスからも聞こえてきます。１年生は、先輩に比べてまだまだ声が出ていないようです。２年生は、男声パートが声変わりに苦戦しながらもとてもバランスのとれた歌声です。３年生は、迫力のある歌声で、さすが最上級生というパワーとプライドを感じます。また、伴奏者や指揮者もそれぞれの技術を一所懸命に高めています。

生徒には「クラスのみんなが一番つながっているクラスが金賞を取る！」と話をしました。私は、合唱を歌うのに一番大切なものは『信頼』だと思います。みんなで歌う時に小さな声になってしまうのは、歌詞を間違ったり音を外したりしたら、誰かに笑われたり馬鹿にされたりすると考えてしまうから…。そんな人は、一人もいないとまわりを信じることができれば、安心して歌うことができると思います。もし歌詞を間違っても音をはずしても、みんなの声がそれをかき消してくれる！と信じて歌うことができれば、笑顔で歌うことができると思うからです。



さぁ、どのクラスが最優秀賞を獲得するのでしょうか。とても楽しみです。



他にも、２・３年生の舞台発表や展示物の作成など文化発表会を盛り上げる取組が進んでいます。また、吹奏楽部の演奏、美術部の芸術作品、習字や技術家庭科の作品、理科の自由研究等、各教科で学んだ技能を発表する作品の展示・発表など、五中の文化レベルの高さを示す活動の成果が見られます。体育大会の盛り上がりに負けないような、充実した文化発表会にきっとなると思います。保護者の皆さまや地域の方々、ぜひご観覧ください！

ある日の昼休み、４階の渡り廊下の天井の石膏ボードが２か所、何者かによって破壊されました。呼びかけましたが、誰も名乗り出る者はいませんでした。こんな大きな穴が２か所開いていたので、不注意や事故ではないと思います。五中生の安心・安全な生活が、脅かされています。こんなことが二度と起こりませんように…



唐津地区中学校13校の生徒会が義援金贈呈！

７月２８日、熊本県を中心とする最大震度７を観測した『令和８年熊本地震』。熊本は、平成２８年にも同じく震度７を観測する大きな地震による被害を受けましたが、その被害から１０年が経って、ようやく復興が進んできた矢先に再び大きな被害を受けたのです。３年生が５月に修学旅行に行った水俣市も震源に近く、大きな被害を受けました。そこで第五中生徒会は、『熊本地震復興支援募金』を行うことにしましたが、五中だけの取り組みではなく唐津地区のすべての中学校の生徒会に呼び掛け、一緒に募金活動を行ったのです。

この呼びかけに賛同してくれた市内中学校の生徒会と共に集めた募金は、総額３２６，５５６円！第五中生徒会としても、７９，４８０円もの募金を集めることができました！募金活動にご協力していただいた保護者の皆様、地域の方々、本当にありがとうございました。



１０月１９日（月）に、他の中学校の生徒会の代表と共に、唐津市社会福祉協議会へ、熊本地震復興のための義援金として届けました。

そして、唐津地区中学校生徒会の代表として、第五中生徒会会長の近藤優奈さんが、「たくさんの人達の復興を願う気持ちが込められています。被災地に届けてください！」とのメッセージと一緒に、社会福祉協議会の笹山茂成会長へ義援金を手渡しました。

第五中生徒会から広がった１つの動きが、唐津市全体を動かす大きなうねりとなったことを、とても素晴らしいと思いました。これからも、世の中や世界の動きに気付き、自分たちに何ができるか考え、周りのみんなと協働して実行する、そんな活動を更に進めてほしいと思います。

WBC（ウェルビーイングクラブ）が車いす寄贈！



１０月２５日（日）、都市コミュニティセンターでコミセン文化祭が開催されました。その開会行事の中で五中のＷＢＣ（ウェルビーイングクラブ）から、外町校区社会福祉協議会へ車いすの寄贈を行いました。

ＷＢＣは、アルミ缶の回収活動を継続して行っており、集まったアルミ缶を売却して得た収益金で車いすを購入しました。今回の車いすで２台目となります。（１台目は、五中保健室に寄贈されました。）

今回の寄贈を通して生徒たちの善意と頑張りが形となり、地域の皆様に安心して公民館を利用していただくとともに、誰もが暮らしやすい地域づくりのお役に立てればと願っています。

学校は、地域の皆様に支えられながら、子どもたちを育んでいます。これからも地域とのつながりを大切にし、互いに支え合う心を育てながら、地域に貢献できる学校を目指してまいります。

ご出産のため休暇に入られる　友澤　友梨乃　先生からのメッセージ

このたび出産に伴い、しばらくの間お休みをいただくことになりました。生徒の皆さんと過ごす毎日は、笑顔や発見がたくさんあり、私にとって大切な時間となっています。しばらく会えなくなるのは寂しいですが、元気に成長していく皆さんの姿や活躍を楽しみにしています。これまでもらった応援や思い出を胸に、元気な赤ちゃんを産みたいと思います。ありがとうございました。